

幼児期は五感を通して、具体的なモノに触れながら、いろいろな事象について認識していくときである。その手段として環境が重要な意味をもってくる。そして環境と保育内容、子どもに寄り添う者としての保育者と保護者の存在が大切である。

《目標》 未来に続く力を今育てておくこと  
未来を見据えながら現在の子どもの活動はどうあったらよいか考える

《手段》 実体験という行為を大切にする。  
それが常に卒園後も未来へと続くものであること。

わかりやすく言えば

自然の活動

造形の活動

音楽の活動

生活習慣

ゲームを通してルールを楽しく知る

日本語を知る

身体づくり

心と体がバランスよく育つように考えている

《園内研修》 令和4年度予定を含む

- ・音楽・歌の会・コンサート・語りの会  
ベイベーブー、金指修平、村上康子、ピンクフィッシュ、その他のコンサート  
川島昭恵の語りの会など  
まず大人が歌ったり、楽器など奏でることを楽しむ
- ・子どもを理解するための観察記録の仕方を学ぶ
- ・少なくとも週1回程、報告会、職員会 職員同志でトーク、記録する
- ・勉強会～幼児造形教育研究会の例会を引き受ける  
それぞれの保育に対する考えを深める
- ・園長を中心にして、具体的に研修のやり方を考える

## 《地域との関わり》

- ・近隣の小学校へ出かける
- ・グラウンドで未就園児の子どもを持つ親子で参加する『親子ひろば』を実施
- ・ゴミ拾い、クリーン作戦の参加
- ・神社の掃除
- ・地域の子育て中のご家族への講座を考えている
- ・近隣の方に畑の収穫物など差し上げ、園の環境や保育を理解していただいている。

## 《今後の課題》

### ○保育関係

- ・新人研修のやり方についての工夫
- ・保護者の協力の仕方をわかりやすくすること
- ・園の保育について知らせるやり方の工夫
- ・環境について協力していただくための工夫  
歳時記・庭の手入れ・畑の仕事など

### ○環境整備

- ・エアコンまたはクーラーがあるとよい      ホールと保育室2、3箇所
- ・
- ・